

## ■参加自動車クラブコメント

○Mr. Ashraful ISLAM アシュラフル・イスラム氏

【バングラデシュ自動車協会（AAB）自動車運転部門マネージャー】

バングラデシュでは98%が日本の車。運転しやすく信頼感が高いと人気だが、セーフティトレーニングの認識が低く、事故が多いのが現状だ。政府と協力し、安全運転の意識を高める必要がある。また、JAFの活動を参考とし、当協会の取組みに取り入れていきたい。



○Mr. Mohamed Fauzan Bin MUPAAD モハメド・ファウザン氏

【マレーシア自動車協会（AAM）チーフインストラクター】

2回目の参加。今回はESCが体験できたのがよかった。マレーシアは雪はないが、モンスーンにより路面が滑りやすくなることがあるし、未舗装路も多いので横滑りに有効なESCは役に立ちそうだ。トレーニングでは、JAFの使っている滑りやすい路面を再現するシートを参考にしたい。



○Mr. Admi Shahrul Bin Ahmad SAFFIAN アマド・アフマド・サフィアン氏

【マレーシア自動車協会（AAM）シニアインストラクター】

今回の講習会は内容構成がよく、興味深かった。現在、マレーシアでは登録車数の半数以上がモーターサイクルである。モーターサイクルに搭載されたABSの安全性が確認でき、有効であると実感できたことが、特に印象に残った。



○Miss Aileen Uy MAPPALA アイリーン・マパラ氏

【フィリピン自動車協会（AAP）大学公開講座特任講師】

子どもたちの交通事故を減らしたいと思い、今回参加しました。JAFのドライバーの死角についてのカリキュラムは自国でも活用できそうだ。フィリピンは左ハンドルなので、右側後方から近づいてくるバイクに気づきにくい。また、他の国の方々と交流ができ、他国の交通安全事情などについての意見交換ができたことは良かった。



○Mr. Lau Wai Hang, Wesley ワイ・ハン・ラオ氏

【香港自動車協会（HKAA）モータースポーツ・安全運転イベント責任者】

ABSやESCは知っていたが、初めて体験し、その機能に驚いた。プリクラッシュブレーキシステムは有効だが、頼りすぎるとドライバーの運転感覚を鈍らせるのではないかと、少し懐疑的な部分もある。まずはしっかりした運転技術を身につけ、安全確認などを怠らないことが大切だ。



○Mr. Terrence Fergus GREENE テリー・グリーン氏

【香港自動車協会 (HKAA) チーフ検査官】

ABSなど、最新の有益な機能を効率よく学ぶことができた。技術の発達により、死亡事故が減ることを願う。実際、香港でも車の機能向上により、事故が減り、死亡者や負傷者が減っている。

ただ、香港の交通マナーはまだこれから、日本のように譲り合いができていない。



○Mr. Rohan Bhaskar DANGLE ローハン・ダングレ氏

【西部インド自動車協会 (WIAA) 安全運転トレーニングインストラクター】

ドライバーに有益な情報が得られた。交通事故を未然に防ぐ行動を理解するトレーニングは、一般ドライバーが日々の運転に活かせる内容であり、また運転をしない家族の安全をどう守るかなどを教えることにもつながる。



○Mr. Abdul Wadood Mhamed Sarwar KHAN アブドゥル・カーン氏

【西部インド自動車協会 (WIAA) 安全運転トレーニングインストラクター】

インドでは人口も多いため、車の登録車数も多く、道は大混雑している。しかし、一般ドライバーや市民の交通安全教育は進んでいない。混雑した状況の中で運転するため、特に女性ドライバーは前屈みになりがち。事故の際、大きな負傷につながることも多い。今回、正しい運転姿勢がなぜ大切なのかという指導法を知ることができてよかった。インドでの早期ABS普及を願うとともに、その際には今回の講習が役に立つと思う。



○Mr. Dhammika Attygalle ダミカ・アティゲール氏

【スリランカ自動車協会 (AAC) 会長】

スリランカでは、通行車両の約半数がオートバイ。車よりも免許が簡単に取得でき、安価に取得できることから若年層を中心に浸透しているが、ヘルメットを着用しない人や、無理な割り込みをする人が多いため、事故による死傷者が増える一方である。

スリランカでは、免許の更新制度はないが、交通事故を減少させるため改善に向け動いているところであり、今回、ディスカッションで共有したアジア各国の免許制度の違いは興味深かった。

